

平成16年度の用途別給水戸数と給水量
(カッコ内は平成15年度)

用途別	給水戸数 (戸)	年間給水量 (立方メートル)	1日1戸当たり 平均給水量(リットル)
家事用 (一般家庭用)	20,354 (20,103)	3,499,471 (3,465,159)	471 (471)
家事用以外 (業務・公共用)	1,329 (1,306)	985,651 (993,613)	2,032 (2,079)
公衆浴場用 (銭湯用)	4 (4)	39,991 (40,383)	27,391 (27,584)
臨時用 (工事用)	87 (81)	4,249 (2,898)	134 (98)
合計	21,774 (21,494)	4,529,362 (4,502,053)	570 (572)

また、皆さんが使った水の使用量(年間給水量)は452万9千362立方メートルと、前年度に比べ2万7千309立方メートル増量しました。なお、1日の使用水量を1人当たりで換算すると約234リットルの水を使用したことになり、前年度と比べると約3リットルの増量となっています。

◎給水の状況
わたしたちは、水をどれくらい使っているのでしょうか。
水を使う家庭の数(給水戸数)は平成16年度末で2万1千774戸と、前年度に比べ280戸増加しました。

一人1日平均234リットルの水を使っています

水道施設を維持するために

◎借入金の状況

安定した水の供給を維持するためには、浄水場や配水管などの水道施設を常に整備していかなければなりません。この整備には、億単位のお金が必要になり、手持ちのお金では賅うことができません。そこで、国などから借り入れをして、おおむね30年をかけて水道料金の中から返済しています(水道事業では、この借入金を『企業債』と呼んでいます)。

また、この借入金は、現在、水道を利用している市民だけではなく、将来、利用する市民にも公平に負担してもらうという目的もあり、世間一般という単純な借金とは性質が異なります。

平成16年度末現在で借入元金の残高は、表のとおり57億6,067万円となっています。これを給水人口1人当たりで換算すると10万8,792円になります。

借入先	借入元金	借入元金に対しての利子	合計
政府資金	34億1,768万円	11億2,515万円	45億4,283万円
公営企業金融公庫	23億4,299万円	6億8,037万円	30億2,336万円
合計	57億6,067万円	18億5,552万円	75億6,619万円
給水人口1人当たり	108,792円	34,098円	142,890円

水道施設整備の状況

平成16年度に実施した工事は、次のとおりです。

区分	工事内容	事業費
送配水管新設工事	幹線となる配水管を布設し、水道水の安定供給を図るための工事を行いました。また、配水管(水道管)が整備されていない公道内に、配水管を布設し、水圧低下などの解消を図る工事を行いました。	9,442万円
送配水管改良工事	赤水発生の解消や地震などの災害に強い水道施設の整備を図るため、老朽化した配水管の改良(更新)工事を行いました。	1億6,142万円
送配水管移設工事	公道の拡幅工事や下水道工事などに伴い、支障となる配水管の移設工事を行いました。	652万円
その他送配水工事	配水管工事に伴う道路の舗装復旧工事、栄町地区配水制御弁設置工事や登別温泉町減圧弁取替工事などを行いました。	3,163万円
水道メーター取替工事	計量法で定められている水道メーターの取り替え(8年ごと)の工事を行いました。	2,467万円
その他設備工事	登別温泉浄水場と幌別浄水場の水質監視盤改修工事などを行いました。	1,517万円



栄町地区配水制御弁設置工事

